少日本CLIL教育学会

日本 CLIL 教育学会 (J-CLIL) 第 1 回大会 The 1st J-CLIL Annual Bilingual Conference

日時:2018年7月14日(土)12時~17時30分

場所: 早稲田大学 戸山キャンパス 36 号館 382 教室

Date & time: Saturday, July 14th 2018 12 to 17:30 pm

Venue: Room 382, Bldg. #36 Toyama Campus, Waseda University, Tokyo

多言語多文化文脈に対応する CLIL 教育

CLIL pedagogy for multilingual and multicultural contexts

- 多言語多文化文脈に対応するCLIL教育 -英語、中国語、日本語、韓国語教育を背景として
- 司会進行笹島茂(東洋英和女学院大学)「英語教育とCLIL」
- シンポジスト
 植村麻紀子(神田外語大学)「中国語教育とCLIL」
 坂本孝之(目白大学院生) 「日本語教育とCLIL」
 金 興重(目白大学院生) 「韓国語教育の現状とCLIL」
 荊 紅涛(創価大学) 「CLILを通して異文化間能力の育成」
- コメンテーター 楊達(早稲田大学)

多言語多文化文脈に対応するCLIL教育

一英語、中国語、日本語、韓国語教育を背景として

目的

- 日本における多言語多文化文脈に対応する CLIL 教育
- 今後のCLIL教育のあり方

背景

- 教科や言語に関わる教育は、互いにどのような指導が行われているかあまり知ることがない。
- CLILは統合学習なので、そのような仲介役を果たすと考える。
- 今回は、英語、中国語、日本語、韓国語教育に携わる視点から議論し、 共有を図りたい。

英語教育と CLIL

笹島茂

- 日本で英語教育にCLILが導入されて10年以上
- CLIL 一 英語学習 教科科目内容の学習
- 大学 一 英語による授業(EMI)
- ・ 初等中等教育 一 バイリンガル教育が導入
- グローバル化に対応した英語教育
- CLIL教育 = ?
- 多言語多文化を背景としたCLIL教育の趣旨

日本で英語教育にCLILが導入されて10年以上

- CEFRの普及
- 大学でのCLIL (上智大学、埼玉医科大学ほか)
- 高校でのCLIL (SSH, SGH, ESDなど)
- 小学校の外国語活動
- 中学校(小中一貫、中高一貫など)
- 早期英語教育
- IBプログラム

CLIL 一 英語学習 教科科目内容の学習

- バイリンガル教育、CBI
- ・ 英語の授業は英語で
- CLT, TBI, Focus on Form
- 各教科の教師の関心
- 教科横断型授業(教科間連携)

大学 一 英語による授業(EMI)

- ・ 大学の国際化
- English Medium Instruction
- 留学
- ・ 英語力の到達度目標 → テスト
- 4技能(聞く、話す)
- CLIL

初等中等教育 一 バイリンガル教育が導入

- IBプログラム
- 国際バカロレアのプログラムは、全て導入することも、どれか 1つのみ導入することも可能となっており、国際バカロレアの 認定を受けている学校は、平成29年6月1日現在、世界140 以上の国・地域において4,846校である。(文科省)
- ディプロマ・プログラム(DP)【3,209校(国内:33校)】16歳 ~19歳を対象としたプログラムであり、所定のカリキュラムを 2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際 的に認められる大学入学資格(国際バカロレア資格)が取得 可能。原則として、英語、フランス語又はスペイン語で実施。

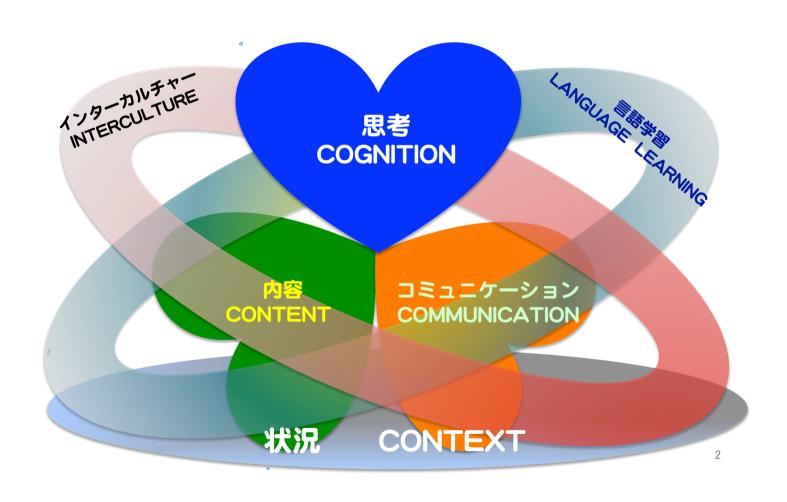
シンポジウム 2 Symposium 2

グローバル化に対応した英語教育

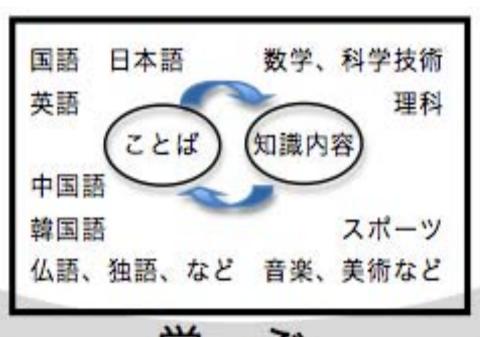
国際共通語としての英語力向上のための5つの提言

- 生徒に求められる英語力について、その達成状況を把握・検証する
- 生徒にグローバル社会における英語の必要性について理解を促し、英語学習のモチベーション向上を図る
- ALT、ICT等の効果的な活用を通じて生徒が英語を使う機会を増やす
- 英語教員の英語力・指導力の強化や学校・地域における戦略的な英語 教育改善を図る
- グローバル社会に対応した大学入試となるよう改善を図る

CLIL教育 = ?



多言語多文化を背景としたCLIL教育の趣旨



学ぶ

植村麻紀子(神田外語大学)

坂本孝之(目白大学院生)

金 興重(目白大学院生)

荊 紅涛(創価大学)

楊 達(早稲田大学)